

テナガショウジョウバエの闘争と求愛行動

松尾 隆嗣 氏

(東京大学大学院 農学生命科学研究科)

日時：2019年5月22日(水) 17:10~19:00 頃

会場：明治大学 生田キャンパス 農学部 6-204 教室

ショウジョウバエは、遺伝学のモデル生物として使われるキイロショウジョウバエの他にもたくさんの種があり、実は生態学の研究対象としても長い歴史を持っています。その中でも、テナガショウジョウバエ (*Drosophila prolongata*) は際立ってユニークな特徴を持つ種ですが、これまでは「知る人ぞ知る (=ほとんど誰も知らない)」存在でした。私たちは本種に研究材料としての高い可能性、特に性選択による進化の研究における新しいモデル生物となりうるポテンシャルを見出し、この数年間様々な角度から研究してきました。これまでに得られた成果の中から、今回は特に繁殖生態にかかわる発見について、その背景知識の解説とともにわかりやすくご紹介したいと思います。学外からの参加も大歓迎ですので、是非ご参集下さい。

問い合わせ： 農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享